

3月25日正午必着

明石春浦先生書

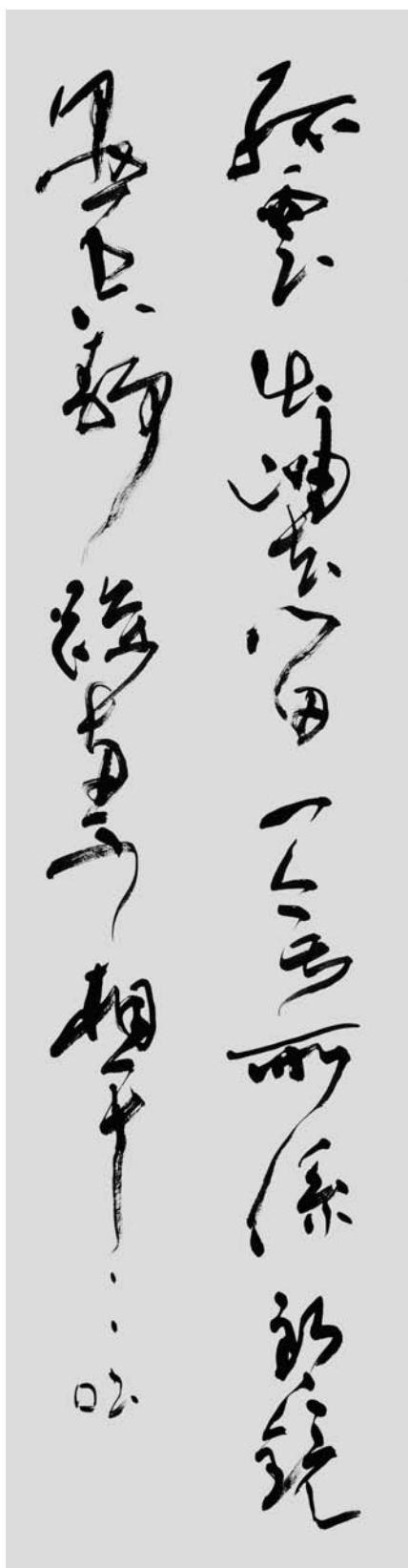


みちをたのしみひんをわする
楽道忘貧

(淮南子)

たのしんで道にはげみ身の貧を忘れるほど熱心になる。

明石幸子書



孤雲出岫、去留一無所係。
朗鏡懸空、靜躁兩不相干。

(菜根譚)

孤雲岫を出ずる、去留一も係わるところなし。
朗鏡空に懸る、靜躁ふたつながら相干さず。



妻が眼を盗みて飲める酒なれば 惶て飲み噎せ 鼻ゆこほしつ (若山牧水)

※鼻ゆ：鼻から

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

清如玉壺氷 (鮑照)

清きこと玉壺の水の如し

心が玉壺の水の如く清い。

松下問童子 言師採藥去
只在此山中 雲深不知處 (賈島)

松下童子に問う 言う師は薬を採りに去けりと
只だこの山中に在らん 雲深くして処を知らず

松の木の下で童子にたずねる 隠者はおられるかと 答える 先生は薬草とりに出かけられました この山の中にはおられるのですが 雲が深くたれこめて どこかはわかりません

送普門上人 (皇甫冉)

普門上人を送る 皇甫冉

花宮難久別 道者憶千燈
殘雪入林路 深山歸寺僧
日光依嫩草 泉響滴春冰
何用求方便 看心是一乘

花宮 久しく別れること難し 道者 千灯を憶う
殘雪 林に入る路 深山 寺に帰る僧
日光 嫩草に依り 泉響 春氷に滴る
何ぞ用いん 方便を求むることを 心を見る 是れ一乗

このゆふべいつも見あぐる 四つ角の時計臺より 春の月出づ (金子 薫園)

半紙部規定課題A

3月25日正午必着

岸 淮
停 舟
倚

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

3月25日正午必着

行書

淮舟倚岸停

隸書

淮舟倚岸停

明石春浦先生書

草書

淮舟倚岸停

行草書

淮舟倚岸停

露の白くおりるころ、草はなおも青々と茂る 淮水を行く舟は岸によりそって碇泊する
風に帆をかけて、彼方、此方へ向かう旅人 空には天の川、地上には淮水、それぞれにきらめく星
樹木は静まって、鳥は草の中に眠り 岸の砂は冷たく、鹿が汀を駆け過ぎる
明日の朝、私と連れだって まっすぐに大海に浮ぼうという人はいないものだろうか

秋夜宿淮口

景池

露白草猶青

淮舟倚岸停

風帆幾處客

天地兩河星

樹靜禽眠草

沙寒鹿過汀

明朝誰結伴

直去泛滄溟

秋夜 淮口に宿す 景池

露白くして 草は猶お青し

淮舟 岸に寄りて停まる

風帆 幾処の客

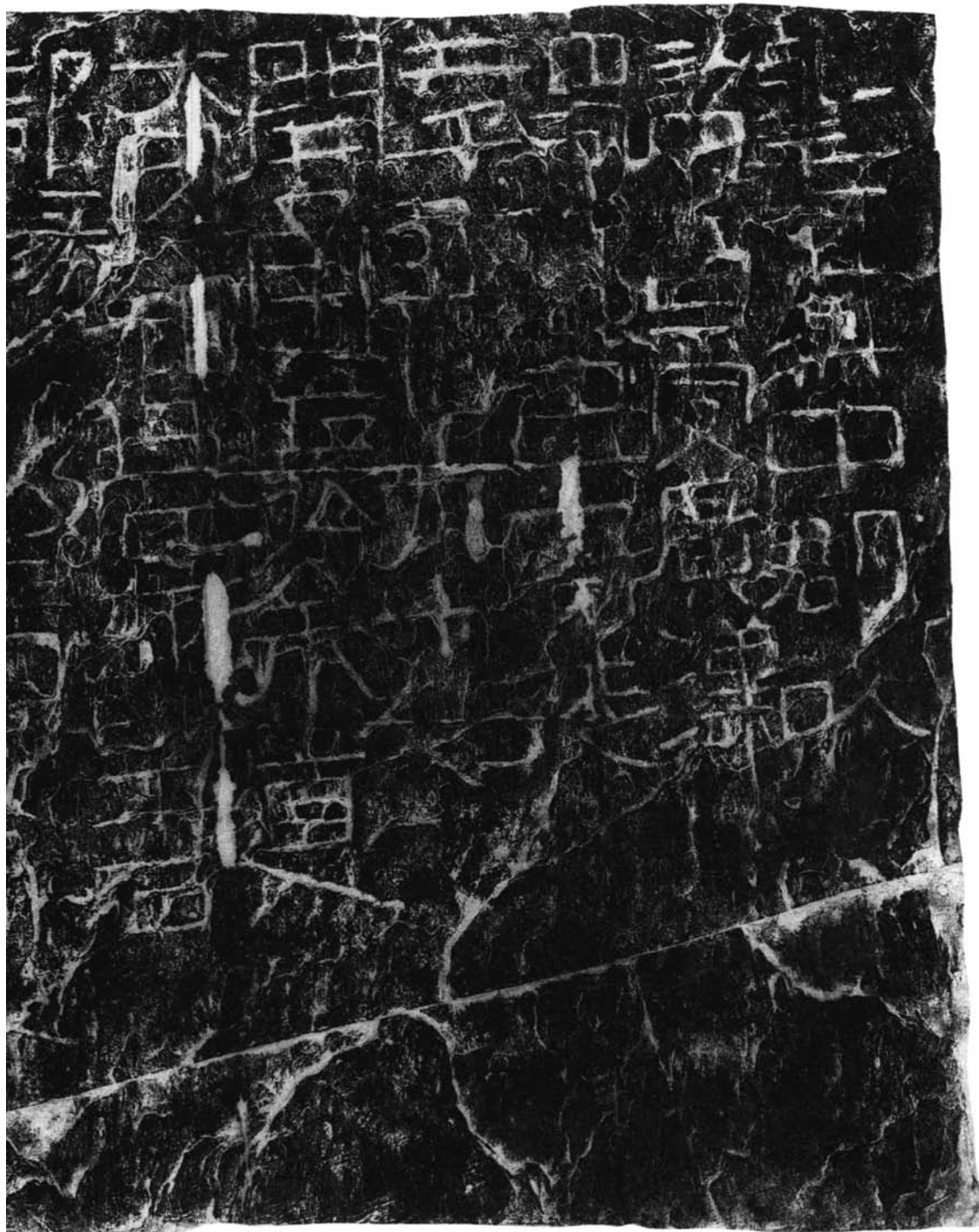
天地 両河の星

樹静かにして 禽は草に眠り

砂寒うして 鹿は汀を過ぐ

明朝 誰か伴を結び

直ちに去って 滄溟に泛ばん



永平六年 漢中郡以詔書受広漢・蜀郡・巴郡徒二千六百九十人開通褒斜道。太守・鉅鹿鄒君、
 永平六年 漢中郡に詔書をもって広漢の蜀郡と巴郡の徒と二千六百九十を授け褒斜道を開通させた。太守鉅鹿の鄒君



永平六年 漢中郡に詔(書)をもって



(漢) 中郡に詔書をもって

後漢 開通褒斜道刻石

標高三千メートル前後という険峻を極める秦嶺(しんれい)を間に挟む陝西省と四川省を結ぶルートは古く秦代から開発されていたとい、漢代になると幾度か改修工事が行われたといわれる。その一つに褒斜道がある。この刻石は永平六年(六十三)から九年(六十六)にかけて行われた、褒斜道修復に功績のあった鄒(ちく)という名の太守をたたえた記念碑であり、摩崖(がが)と呼ばれる自然の岩肌(がみ)に直接文字が刻まれた石碑である。高さは約九〇センチ、一三〇センチ、幅約二八〇センチの大きさで、碑文は一六行、一行五字、十一字の隸書体である。字径が二〇センチ前後と大きく、雄大さと古意を感じさせる。

漢代は横画に波法をほどこす装飾性のある八分隸の完成期にあたるが、この刻石はその前期を代表する書といわれ、曹全碑や禮器碑のような整齊さとは異なり、波法をほとんど用いず、その大らかさや風化ともあいまって古拙の中の暢びやかさ・飄逸さは、楊守敬をして「天然の古秀」と言わしめ、古くから多くの人々を魅了する逸品といわれる。

(春濤)

3月25日正午必着

教育部毛筆

微笑

雨宮春聲先生書

び
微

しょう
笑

中学一年

声援

菅井松雲先生書

せい
声

えん
援

中学二三年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



よう
陽

こう
光

小学五年

藤井良泰先生書



こう
校

か
歌

小学六年

森戸春濤書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

3月25日正午必着

先生

細谷春誠先生書

せん
先

せい
生

小学三年

実直

榎戸春龍先生書

じつ
実

ちよく
直

小学四年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

を

小学一年・幼年



ど ぼく
土 木

小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

藤田幸春先生書

3月25日正午必着

教育部硬筆

ペン字部

幸福をよぶ四つ葉の
クローバーを見つけた

小学五年

卒業写真を写す日が
間近になりました

小学六年

いつまでも校舎に響
きわたる友情の歌声

中学

春の便りを乗せて静
かに流れる雪どけ水

一般(級位)

白雪のまだふるさとの春日野に
いざうちあらひ若菜つみてむ
(後拾遺和歌集・大中臣能宣)

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

る	に
	わ
う	に
め	
の	さ
は	い
な	て

幼 年

め	犬
を	と
み	あ
ま	そ
し	ぶ
た	
	ゆ

小学一年

目	冬
ざ	の
め	ね
た	む
か	り
え	か
る	ら

小学二年

小	ゆ
川	き
に	ど
な	け
が	水
れ	が
る	

小学三年

に	雪
に	と
春	ざ
が	ざ
お	れ
と	た
ず	山
れ	里
た	

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

岩本景楓先生書

ち本の喜み
がういそ
いふの
て
り
り

善い水のう
り

大木の青葉のなかに小鳥なくこまかにひるの
能可尔奈万可多川
 日をみだしつゝ
 (若山牧水)